

作成日：2010.06.15

改訂日：2011.10.07

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	油吸着シート
品番	P-50 P-65 PR-50 PR-65 PR-100 PR-3-25
会社名	前田工織株式会社
住所	〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3
担当部門	品質管理部
電話番号	0776-51-9202
FAX番号	0776-51-9203
整理番号	N0103-04

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	: 繊維（不織布）であるため、GHS 分類に該当しない。
有害性	: 通常の手扱いでは危険有害性はないが、高温溶融樹脂から発生するガスは、眼、呼吸器に刺激性がある。
環境影響	: 環境において長期間分解しないため、環境汚染の原因となるが、ポリマーの水溶解性は無視できるので、水生生物に対する毒性は弱いと思われる。
物理的及び化学的危険性	: 通常の手条件下では、安定である。 摩擦等で粉体化されると粉塵爆発の危険性がある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物（不織布）
化学名	: ポリプロピレン
別名	: ポリプロピレンスパンボンド不織布

成分	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)	官報公示整理番号 (安衛法)	含有率 (%)
ポリプロピレン (ポリプロピレンホモポリマー)	9003-07-0	(6)-402	既存	99 以上
添加剤 (酸化防止剤)	—	—	—	1 以下

4. 応急措置

吸入した場合	: 高温の溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は、 空気の新鮮な場所に移る。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 溶融物が皮膚に付着した場合は、衣類の上から大量の水を かけ、十分に冷却する。その後、衣類を脱がせ、医師の手 当てを受ける。
目に入った場合	: 危険性はないが、眼球を傷つける可能性があるため、清浄

記載内容は現時点で入手できる試料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであるため、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

飲み込んだ場合 : な水で十分に洗い流す。異物感が眼に残るようであれば眼科医の手当てを受ける。
: できるだけ吐き出し、異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 棒状水、霧状水、泡、粉末、二酸化炭素
特定の消火方法 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
消化を行う者の保護 : 消化作業の際は、必ず状況に応じた保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : シート状であるため該当しない。繊維屑等が出た場合は、掃き取り回収する。
環境に対する注意事項 : 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : ロール状の製品は重量物であるため、落下等による事故を防止するための処置を施す。
保管 : 直射日光、水漏れ、急激な温度変化を避け、屋内貯蔵する。
貯蔵場所では、みだりに火気を使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 特になし。粉碎等で初塵を発生させる場合、局所排気装置を設置するのが望ましい。
保護具 : 粉碎等で粉塵を発生させる場合、防塵マスク、保護マスクを着用するのが望ましい。
管理濃度 : 未設定
許容濃度 : 樹脂の粉末についての許容は定められていないが、下記の値を準用するのが適当と考えられる。(引用文献 2)
日本産業衛生学会 (2000) : 第 3 種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m³
総粉塵 8 mg/m³
ACGIH (2000-2001) : その他の粉塵 呼吸性粉塵 3 mg/m³
吸入性粉塵 10 mg/m³

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 不織布シート
物理的状态 : 白色
色 : 白色
臭い : 無臭
pH : 非該当
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 :
融点 : 155℃～165℃
引火点 : 知見なし
発火点 : >280℃ (ASTM E659)

記載内容は現時点で入手できる試料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであるため、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

爆発特性 : 知見なし
溶解性 : 水に不溶

1 0. 安定性及び反応性

可燃性 : あり（消防法指定可燃物）
安定性・反応性 : 一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定で、反応性はない。
避けるべき条件 : 直射日光、高温を避ける。
粉塵爆発性 : 粉塵は爆発性混合気を生成する場合がある。（引用文献 3）
（爆発下限界濃度 平均粒径 $35\mu\text{m}$ にて 15g/m^3 ）
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド、およびその他の有機系の蒸気を発生する可能性があるため熱分解時に生成するガスに触れたり吸引したりしない。

1 1. 有害性情報

皮膚腐食性 : なし
刺激性 : 皮膚や眼に対し、物理的な刺激がある。
感作性 : なし
急性毒性 : (1)マウスに安定剤を含まない粉末を 8g/kg 投与したが、何ら障害は認められなかった。（引用文献 4）
(2)ラットに 14C でラベルした試料を経口投与した場合、その物質は体内に全く認められず、摂取量が完全に排泄された。（引用文献 4）
慢性毒性 : マウス、ラットに 20°C 及び 80°C における水抽出物を約 15 ヶ月投与したが、対象群と比較して、条件反射能力、体重、肝臓重量比に著しい変化は認められなかった。（引用文献 4）
がん原性 : IARC の発がん性区分でグループ 3（ヒトに対して発がん性について分類できない。）に分類されている。（引用文献 5）

1 2. 環境影響情報

海岸生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海岸や水域でも投棄、放出してはならない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄物は原則として、焼却又は埋め立てによって処理する。
(1)焼却するときは、焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し、焼却する。
(2)埋立てる時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類、国連番号 : 該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器の破損、漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
輸送中は、直射日光、異物、水の混入を避けるため、カバーシート等をかける。

記載内容は現時点で入手できる試料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

1 5. 適用法令

消防法	: 指定可燃物（合成樹脂類）（3000kg）
PRTR 法	: 該当しない
毒劇物取締法	: 該当しない

1 6. その他の情報

注意事項

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したのですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するとき、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

引用文献

- 1) 日本化学工業協会「製品安全データシートの作成指針（改訂版）」
- 2) 産業医学 Vol.34,1992 P371
- 3) 可燃性粉塵の爆発危険性評価技術 労働省産業安全研究所 安全試料 RIIS-SD-90-1,1990
- 4) 食品プラスチック衛生学、労働省環境衛生局食品化学課（講談社）
- 5) IARC MONOGRAPHS Supplement No.7
Overall evaluations of carcinogenicity : An updating of IARC Monographs
Volume 1 to 42 ,1987
- 6) 原料の MSDS

記載内容は現時点で入手できる試料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。